



# PLOT FARO PANTHERA

2008 Vol.1

2008 シーズンを占う開幕戦、前夜の土砂降りでのコンディションの悪化が予想されたが、全てを洗い流した様な春らしい陽気が広がった。

今シーズンより ST600、JSB1000 の 2 台体制での参戦となるプロトファローパンテラ。

ST600 の寺本にとっては新チーム、新マシンと、全てが一一新となるスタート。JSB1000 の今野はマシンと共に熟成を進め、更なる目標を掲げてのスタートとなる。

## 予選レポート

4/5-SAT ドライ

### ST600 #8

前日のフリー走行ではセッティングを煮詰める事ができずに不安を残しながらのスタートを切る事となった。しかしそんなスタッフの不安を吹き飛ばすような走りで 3 番手の好タイム。そのままタイムアップを計るがリズムがあわずその後のタイムは伸び悩む。周囲がタイムを出す中、果敢にアタックを続ける寺本。最終的に 1 : 57 : 579 までタイムを伸ばすも、5 番手で予選一回目を終える。

予選 1 回目の結果から若干セッティングを直し、2 回目に望む。新たなセッティングを確認しながらクリアラップを待つ。しかし、フルコースでのクリアラップが最後まで取れず、1 回目の記録を更新する事無く、タイムアップ。最終的に TOP と 0,6 秒差の 8 番手で予選を終える。

#### #8 寺本 コメント

条件が揃わず、残念な予選結果だった。しかし TOP 争いのできるグリットとセッティングは確保できた。明日は行きます！

### JSB1000 #15

新たなコースレコードが記録されるベストコンディションの中、前日のフリー走行でセッティングを煮詰めたマシンを駆り、自身初となる 1 分 52 秒台に突入し 13 番手で 1 回目の予選を終える。ノックダウン方式で行われる予選の第 1 セッション。今野は無難な走りで纏め、余力を残した状態の 15 番手で第 2 セッション進出を決める。

正念場の第 2 セッション、予選 1 回目の結果ではタイムを 0,5 秒つめれば、第 3 セッションへ進める 12 位。ニュータイヤに履き替え、第 3 セッション進出、自己ベスト更新の為、気合を入れピットロードを加速していく。序盤上手くクリアラップが取れず、時間が押し迫った残り 3 分。待望の瞬間に今野はスロットルを振り絞る。わずかなチャンスで自己ベストを更新する。1 : 52 : 456 を出すものの、又しても届かず。14 番手で予選を終える。

#### #15 今野 コメント

悔しい、とにかく悔しい。自己ベストを更新したものの、目標の 51 秒台、第 3 セッション進出が叶わずとても悔しい。しかし決勝用タイヤで自己ベストを更新できたのが、決勝に向けての自信に繋がった。



## ST600 #8

移籍後初となる決勝レースは8番手、グリット中央から好スタートを切る寺本。目前の一台をかわすもののコース両端から攻め入るマシンに行く手を塞がれ、1週目を10位で終える。その後順調に周回を重ねながら順位を上げ8番手。

中盤に差し掛かった7周目、寺本の熱い気持ちを込めたブレーキングによって車体は左を向きながら右コーナーへ飛び込んで行く。この強引な攻防で2つ順位を上げ、6位に。この時点での5位との差は約3秒半。追撃開始の寺本は僅か一周で2.8秒差まで詰め寄る。更なるジャンプアップを狙う11周目に入るが、2コーナーで転倒した車両がコース上に残り赤旗中断。2レース目になるかと思われたが、10周終了時点でレースは成立。寺本の新しい戦いの初戦は6位入賞で終わった。

ST600 決勝 6位

## #8 寺本 コメント

スタートで団子状態の中に入り、抜け出すのに手間取ってしまった。危機一髪の勝負で6位を勝ち取る事ができたが、手の届くところにあった5位を目前にしてのレース終了。非常に残念です。次はいきます！



## JSB1000 #15

ウォームアップランからこの日ベストタイムを記録しポールポジションを獲得した #64 秋吉耕佑がトラブル発生でピットに入り、ポールポジション不在のままレーススタート。

14番手グリット中央からスタートした今野はその直後にポジションアップに成功。1週目を終えて12位に。前を走る #11 津田一磨を追い詰めるが、行く手を阻まれながらレース中盤に。その間に前を走る #33 伊藤真一がマシントラブル、そのままリタイヤとなる。その後、手間取りながらも津田をパスする事に成功し、ベストリザルトとタイ記録となる10位に順位を上げるが、津田との攻防が長引いてしまった為9位 #11 徳留和樹との距離は遠ざかっていた。諦める事無くアタックを続けるものの、そのままチェッカーを受ける事となった。

JSB1000 決勝 10位

## #15 今野 コメント

07モデルながらも熟成の進んだマシン、去年は怪我に悩まされた身体も万全、予選タイムも自己ベストを更新。上位を狙う環境は整っているながら #11 津田一磨をパスする事に時間をかけ過ぎた。ベストリザルトの10位タイとなる結果ではあるが反省点の残るレースだった。

## SPECIAL THANKS

